



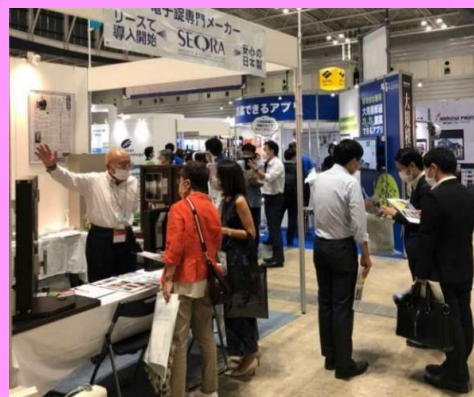
## 賃貸住宅フェア2021in東京 出展レポート



コロナ発生により開催が見送られてきた賃貸住宅フェアが1年10ヶ月ぶりに横浜市で開催され、セキュラも出展させていただきました。開催は実に2019年11月の名古屋会場以来です。今回は感染症予防として事前に予約された方のみが入場できる形が採られるなどの対策が実施され、ご来場者様、主催者様、そして私たち出展者側の協力の下に安心・安全なフェアとなるよう努め無事終了致しました。今回は、その賃貸住宅フェアの様子をご紹介します。



【会場】 横浜市のパシフィコ横浜。「リフォーム産業フェア」、「不動産ソリューションフェア」と同時開催され、沖縄県や北海道など遠方からも来場されていました。



【会場の様子】 コロナ禍のもと初めての住宅フェアということもあり、どれだけの方が来場されるか不安でした…。しかし、蓋を開けてみると多くの方が来場され、セキュラのブースもたくさんの方が足を運び真剣に商品説明に耳を傾けて下さいました。今回、ご来場者様は事前に登録が必要であった分、本気で良い商品・サービスとの出会いを探しておられ、私たちにとっても多くの素敵な出会い、ご縁をいただくことができました。



オーナー様(左)と記念撮影  
(撮影時のみマスクを外しました)

【久しぶりの再会】 フェアでは新しい出会いの他に、コロナ禍で長くお会いできていなかったお客様と久闊を叙する機会ともなりました。「久しぶり、元気にされてた?」「毎回出展しているね、新商品出た?」。当たり前だった対面での何気ない会話がこんなにも嬉しく大切であると改めて気付かせてくれる場となりました。

【コロナ対策】 出展スタッフは毎日、消毒と検温を実施。検温を行うと機械から日時と体温が記載されたシールが出てくるようになっており、胸や名刺ホルダーなどに貼り付けてチェックしました。また、検温漏れを防止するため、日によってシールの色を変える徹底ぶりでした。(写真:緑は9/16分)  
私たちが手洗い、うがいなどの基本的対策の他、ブース内のデモ機、机、ボールペン一つに至るまで徹底した消毒を行いました。



## ＜賃貸住宅フェア2021in大阪 中止のお知らせ＞

10月15・16日に開催を予定しておりました「賃貸住宅フェア2021in大阪」は、会場となるインテックス大阪6号館が大阪府のコロナ患者臨時医療施設として運営されることとなったために中止となりました。

これで今年の住宅フェアは終了となりましたが、コロナ禍のもと東京で初めてコロナ発生後にフェアが開かれたことは、来年以降のフェア開催に向けて大きな希望となったのではないかと思います。今後、ワクチン接種や治療薬の開発が進み、本年よりも多くの会場で皆様とお会いできる日が来ることを心より期待しています。



## 2022年 賃貸住宅フェアin東京が早くも決定！

2022年の賃貸住宅フェアの開催が全国賃貸住宅新聞社様より早くも告知されました。現時点での告知は東京会場のみですが、東京以外の地域での開催も期待されるようです。

東京会場では、場所を東京ビッグサイトに戻し、「リフォーム産業フェア」「住まい×介護×医療展」との3展同時開催の予定です。来年は多くの会場の皆様とお会いできることを楽しみにしております。

### <賃貸住宅フェア2022in東京>

日時 2022年7月26日(火)・27日(水)  
会場 東京ビッグサイト西1・2ホール

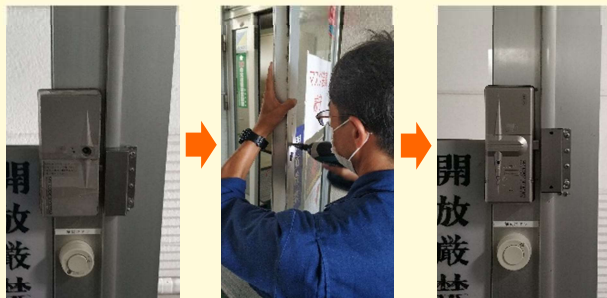
「賃貸住宅フェア」  
「リフォーム産業フェア」  
「住まい×介護×医療展」  
**3展同時開催、決定！**

## 社内研修を実施しました

私たちセキュラはマイロックを中心とした住宅向けの製品提供を行っていますが、これまでのかかわら版でご紹介した通り、第二営業部は、宮崎県や鹿児島県の金融機関向けのセキュリティ事業を中心に展開しており、他の部署とは業務内容が異なります。そこで、今回、①新入社員研修の一環として②金融機関向けの保守点検業務に技術担当者計2名がそれぞれ別の日に社内研修として参加しました。

普段、なかなか顔を合わすことができない社員同士ですが、互いの業務を知り、また、日頃聞けない疑問点や意見交換を行うことで相互にレベルアップが図れるものと期待しており、今後も継続していきたいと考えています。

### ①旧マイロック(SN)からのVシリーズ(VE)への取替の様子



～研修参加者のコメント～  
金融機関向け業務だけでなく、マイロックの工事もしていることを知りました。写真は旧マイロックからの取替工事ですが、現場により一つの調整作業が必要であることを学びました。私も早く仕事を覚えて、幅広い業務がこなせるよう努力していきたいと思っています。

### 今月の言葉

### 雨垂れ石を穿つ

漢書の『枚乗(ばいじょう)伝』の一節にある「泰山の雨の滴りは石を穿つ」が由来とされ、少しずつ滴り落ちる雨垂れであっても、それが長く落ち続けると、やがては硬い石にも穴をあけられる、つまり、たとえ小さな力であっても粘り強く積み重ねていけば、成果を得られるということの意味しています。同じような言葉は「継続は力なり」「石の上にも三年」など多種にのぼりますが、それらに共通していることは諦めずに継続すること、積み重ねることの重要性を説いています。

しかし、私たち人間は仕事の成果においても、あるいはダイエット成果であっても、どうしても短期間で効率的、しかも楽にその恩恵を得たいと考えてしまいます。ただ、本当に得たい知識はインターネットで検索するだけで得られるものではありませんし、本当に得たい技術は動画を見るだけで習得できるものでもありません。「本当に欲しいもの・成果」を手に入れるためには、困難か目を背けずに、諦めなくなる気持ちに負けずに継続していく他に近道はないのだと思います。

### ②保守点検時の様子(シャッター点検:2か所)

金融機関は不特定のお客様が出入りするだけでなく、その性質上、最も高度な防犯性が求められる施設の一つであるため、緊張感と周囲への配慮が特に求められます。この時期から年末にかけては、来期の予算策定に合わせて点検作業を行い、必要な点検修理箇所について見積提案を行っています。金融機関で働く方々、そして金融機関をご利用されるお客様にご迷惑がかからないよう、細部まで注意を払って点検作業を行っています。



### ～研修参加者コメント～

私は普段、住宅向けにマイロックの設置工事をしており、私にとって金融機関という場所は基本的にお客様の立場で出入りする場所でした。今回、その金融機関を支える側として参加してみると、住宅とはまた違った緊張感、目配り、気配りが必要であると実感しました。また、その地域特性として、鹿児島県では火山灰の影響でサビが発生し易いなど、私の担当するエリアには無い特徴があることに驚きました。ただ、今回の訪問で一番嬉しかったのは、訪れる先でお客様から笑顔で迎えられるケースが多かったことです。私も彼らに負けないうらい信用・信頼されるよう今後も頑張っていきたいと思っています。

